

平成21年3月

おかやま河川だより 第15号

吉井川特集

吉井川風物詩



和気町：新田原井堰（河口から32km 付近）



和気町：藤まつり



和気町：金剛川 水辺の楽校



赤磐市：赤磐市夏まつり



備前市：坂根堰（河口から17km 付近）



瀬戸内市：瀬戸内バルーンフェスティバル



岡山市：鴨越堰・JR 赤穂線（河口から7km 付近）



岡山市：吉井川フェスタ



岡山市：河口

吉井川水系河川整備基本方針が策定されました

吉井川の将来あるべき姿とその実現のために取組む河川整備の方針についてまとめた吉井川水系河川整備基本方針[※]が、平成21年3月6日に策定されました。

本号では、皆さんに吉井川水系河川整備基本方針の概要についてご紹介します。

※河川整備基本方針とは、河川整備の基本的な考え方を長期的な視点で定めたものであり、社会資本整備審議会(国土交通大臣の諮問機関)の意見を聴いて国土交通大臣が定めます。



吉井川



旭川



高梁川

国土交通省 中国地方整備局
岡山河川事務所



吉井川

吉井川流域の概要

吉井川は、^{みくにがせん} 苫田郡鏡野町の三国山(1,252m)に源を^{みなもと} 発し、途中、加茂川、吉野川、金剛川等と合流し、児島湾に注いでいます。

下流部の岡山平野の岡山市と中流部の津山盆地の津山市に人口・資産が集中しており、下流部は岡山平野、児島湾干拓地等の低平地でゼロメートル地帯が広がっています。

気象の特性としては、上流部は年間降水量2,000mm程度、下流部は1,200mm程度と上流部の方が年間降水量が多くなっています。(日本の年間平均降水量1,700mm)

流域面積 2,110km²

全国109水系中第29位

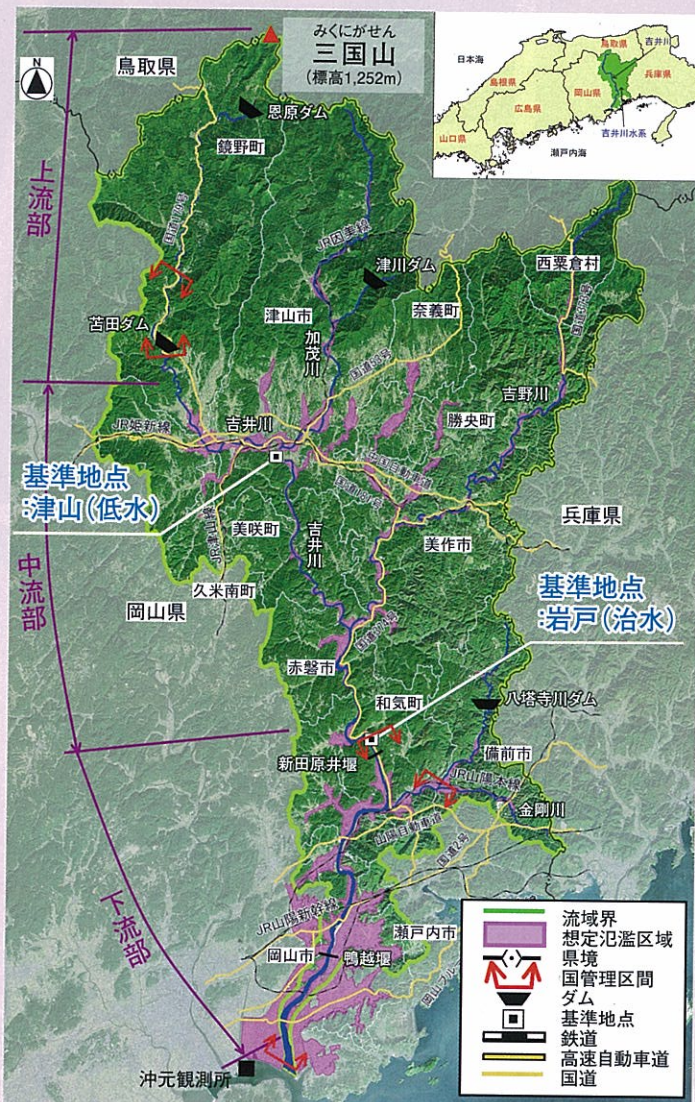
幹川流路延長 133km

全国109水系中第30位

流域内人口 約29万人

想定氾濫区域内人口 約14万人

流域内市町村 6市6町1村(岡山市、津山市など)



洪水・高潮・内水

吉井川では、これまでにさまざまな治水事業を行っていますが、近年では平成2年9月の内水被害、平成10年10月の洪水被害や平成16年8月の高潮被害などの被害が発生しており、いまだ治水対策が課題となっています。

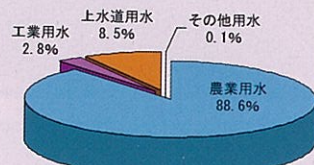


平成10年10月洪水被害状況

水利用

吉井川の水は、農業用水、工業用水、水道用水などの生活用水に使われていますが、水系全体の水利用(発電を除く許可水利の量)は、約90%が農業用水に利用されています。

吉田ダムや坂根堰など多くの利水施設により水利用が行われていますが、平成6年、14年、17年に取水が制限される渇水状態が発生しており、今後も、適正な水利用が図られるよう関係機関、利水者等と連携を図っていく必要があります。



吉井川水系水利流量割合(発電を除く)



吉田ダム



坂根堰



新田原井堰

河川環境

水質 河川の水質環境基準をほぼ全域で満足しており、おおむね良好な水質です。

動植物 吉井川には多種多様な動植物が生息していますが、国の天然記念物に指定されているアユモドキなども下流部に生息しています。



アユモドキ

空間利用 水辺の^{がっこう} 学校等による河川敷の利用など、市民の憩いの場として利用されています。一方、ゴミ等の不法投棄や下流域でプレジャーボート等の不法な係留が見受けられます。

河川整備基本方針の概要

河川整備基本方針策定の流れ

- 内容**
1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針
 2. 河川の整備の基本となるべき事項



【環境】河川環境の整備と保全

- 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐよう努める。
- 河川景観、良好な水辺景観の維持・形成に努める。
- 水質については、維持・改善に努める。
- 河川敷地の多様な利用が適正に行われるよう努める。

【流量】

- 基本高水きほんたかみずのピーク流量※1
:毎秒11,000m³(岩戸基準地点)
- 河道への配分流量けいかくこうすいりゅうりょう(計画高水流量)※2
:毎秒 8,000m³(岩戸基準地点)
- 流水の正常な機能を維持するため必要な流量※3
:おおむね毎秒3.0m³(津山基準地点)

※1:流域に降った計画規模の雨が、ダムなどによって洪水調節されずに、そのまま河川に流れ出たときの流量

※2:基本高水流量から、ダムなどの洪水調節施設での洪水調節量をさし引いた流量

※3:生物の生息環境や社会活動を維持していくために必要な川の流量

【治水】災害の発生の防止又は軽減

- 堤防の新設や質的強化・耐震対策・高潮対策、河道掘削、護岸整備、内水対策等を実施する。
- 流域内の洪水調節施設により洪水調節を行い、洪水を安全に流下させる。その際、既存施設の有効活用を図る。
- 施設能力以上の洪水が発した場合の被害をできるだけ軽減させるための対策を実施する。
- 河道内の樹木については、河川環境の保全に配慮しつつ、適正な管理を実施する。

【利水】河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 関係機関と連携しながら、必要な流量を確保する。
- 渇水等の発生時の、水利用の円滑化等を図る。

吉井川水系河川整備計画(国管理区間)の策定に向けた進め方

今後、20~30年間に行う吉井川の川づくりについて、広く関係住民のみなさんのご意見を伺いながら、河川整備計画を策定していきます。

なお、旭川水系河川整備基本方針は平成20年1月28日付け、高梁川水系河川整備基本方針は平成19年8月16日

付けで策定されており、それぞれの河川で河川整備計画の策定に向けて作業を進めています。詳しくは岡山河川事務所ホームページをご覧ください。

.....> [岡山河川事務所](#)

VOICE

皆様からいただいたご質問にお答えいたします



Q 吉井川の永安橋辺りでは冬から春にかけて赤潮が発生していますが、発生原因は何でしょうか。また、川の生き物に影響は無いのでしょうか。

A 吉井川の鴨越堰から下流では、初冬から初夏にかけて植物プランクトンのクリプトモナス類が増殖し、水の赤褐色への変色(赤潮)や、魚臭を発する現象が生じますが、毒性はないとされています。増殖原因は不明ですが、様々な排水に含まれる栄養分(窒素、リンの化合物)の流入による富栄養化現象が要因の一つと考えられます。家庭からの汚水を流さない、適正量の肥料使用など、流域全体での取り組みが大切です。

吉井川乙子地区改修事業

～乙子地区の堤防整備工事を実施しています～

永江川が合流する乙子地区では、平成2年9月の台風19号により甚大な被害が発生したため、岡山河川事務所では乙子地区の堤防整備を実施しています。堤防整備に使用する土は、赤磐市千鉢地先の河川内に残る古い堤防(旧堤防)を掘削した土を利用し、資源の有効活用と、コスト縮減を図っています。

また、乙子地先周辺の吉井川に生息する希少種(貝類)の調査や、工事予定区域外への移動を地域の方々と協働で取り組む等、環境保全に配慮した施工も行っています。

歴史的価値の高い乙子常夜灯は、工事期間中は工事の支障となるため一時撤去し、堤防が完成後に再設置を行います。

再設置に際しては、歴史や景観などとともに安全性

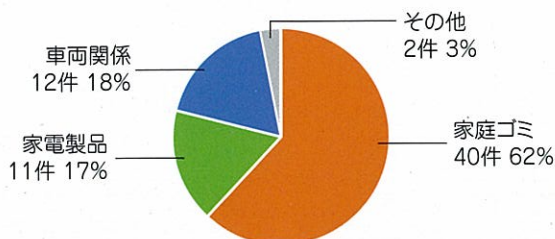
にも配慮しつつ、今後とも地域のシンボルとしての役割を果たすよう関係者の方々と話し合いを進め施工していきます。



乙子常夜灯

なくそう不法投棄 守ろうきれいな吉井川

ゴミの不法投棄は全国的な問題となっていますが、吉井川下流(西大寺出張所管内)の不法投棄件数は、平成20年12月時点で、前年度の同じ時期と比較して、1.3倍以上に増加しています。投棄されたゴミは景観を損ねるだけでなく、橋や堰にひっかかって洪水の流れをそ害したり、堰からの取水障害の原因などになります。また、実際に漁網を傷めるなどの被害を引き起こしています。岡山河川事務所では、河川パトロールを行うと同時に不法投棄の処理を行っていますが、その作業に毎年多大な労力と費用を必要としています。



平成19年度 不法投棄の分類

岡山河川事務所では、このような状況に厳しく対処するため、以下の3点の方針で不法投棄対策を行っています。

①所轄警察署と連携して不法投棄者を摘発します。

※西大寺出張所では、平成19年10月1日に岡山市寺山地先で不法投棄物を発見し、警察に連絡し捜査した結果、犯人が摘発されました。

②不法投棄が多い箇所は重点的に巡視します。

③ゴミを捨てない「心がけ」と、捨てさせない「地域の目」が育つように啓発していきます。

不法投棄されるゴミの大半が家庭ゴミです。ゴミ集配日にきちんと処理していただくだけで不法投棄の大半はなくなります。不法投棄をなくし、きれいな吉井川を守っていきましょう。

【参考】岡山河川事務所ホームページに岡山三川のゴミマップなどの関連情報が掲載されていますのでそちらもご覧下さい。

みんなの VOICE



「おかやま河川だより」のバックナンバーを、岡山河川事務所ホームページに掲載しています。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

皆様から頂いたご意見・ご質問は「VOICE」のコーナーでできるだけご紹介・お答えします。

挟み込みのはがきで自由なご意見をお聞かせ下さい。

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2丁目4番36号
Tel.086-223-5101(代表) Fax.086-222-7835